

2-5 給水装置

(1) 給水管の修繕等に関する認知度

問 給水管(※1)は、お客さまの財産であり、修繕等はお客さまが水道工事業業者に依頼して行うこと(※2)について、ご存知ですか。

※1 お客さまが、水道水を利用するために、配水小管又は他の給水装置から分岐して家屋内等に引き込んだ管です。

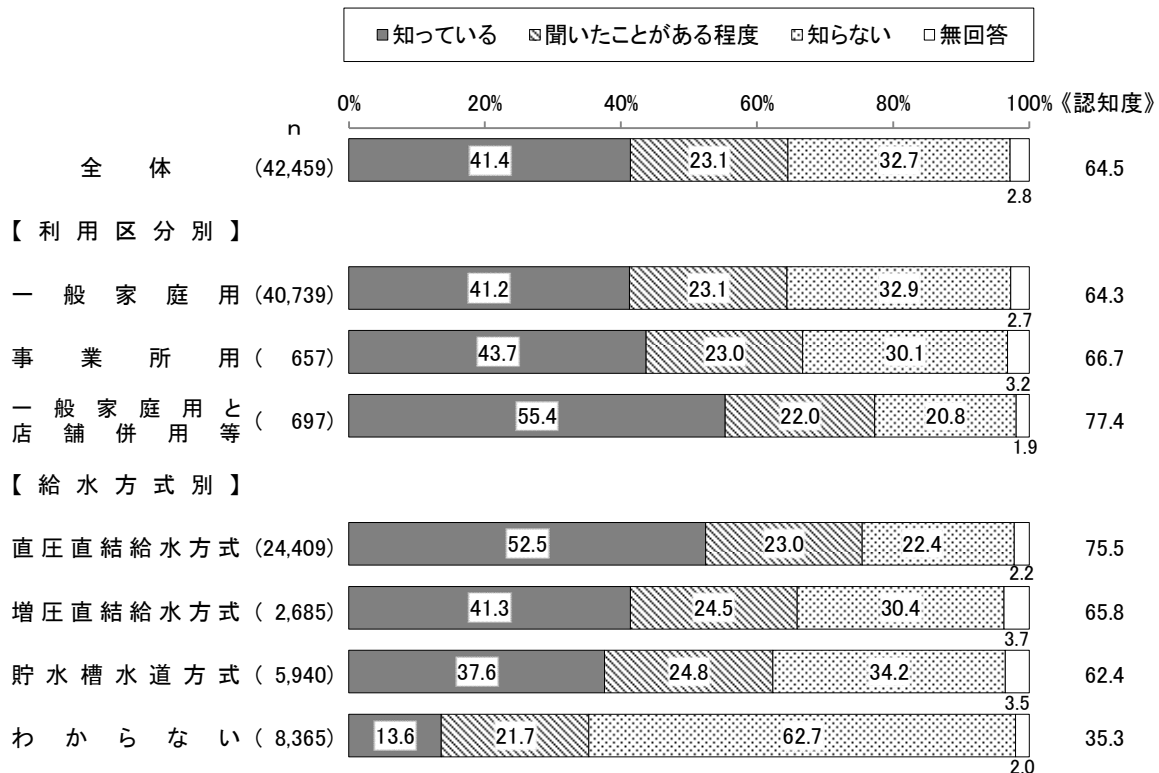
※2 道路部分などに埋設されている一部の給水管は、水道局が修繕します。

1) 知っている 2) 聞いたことがある程度 3) 知らない

[D : 問6]

[調査結果]

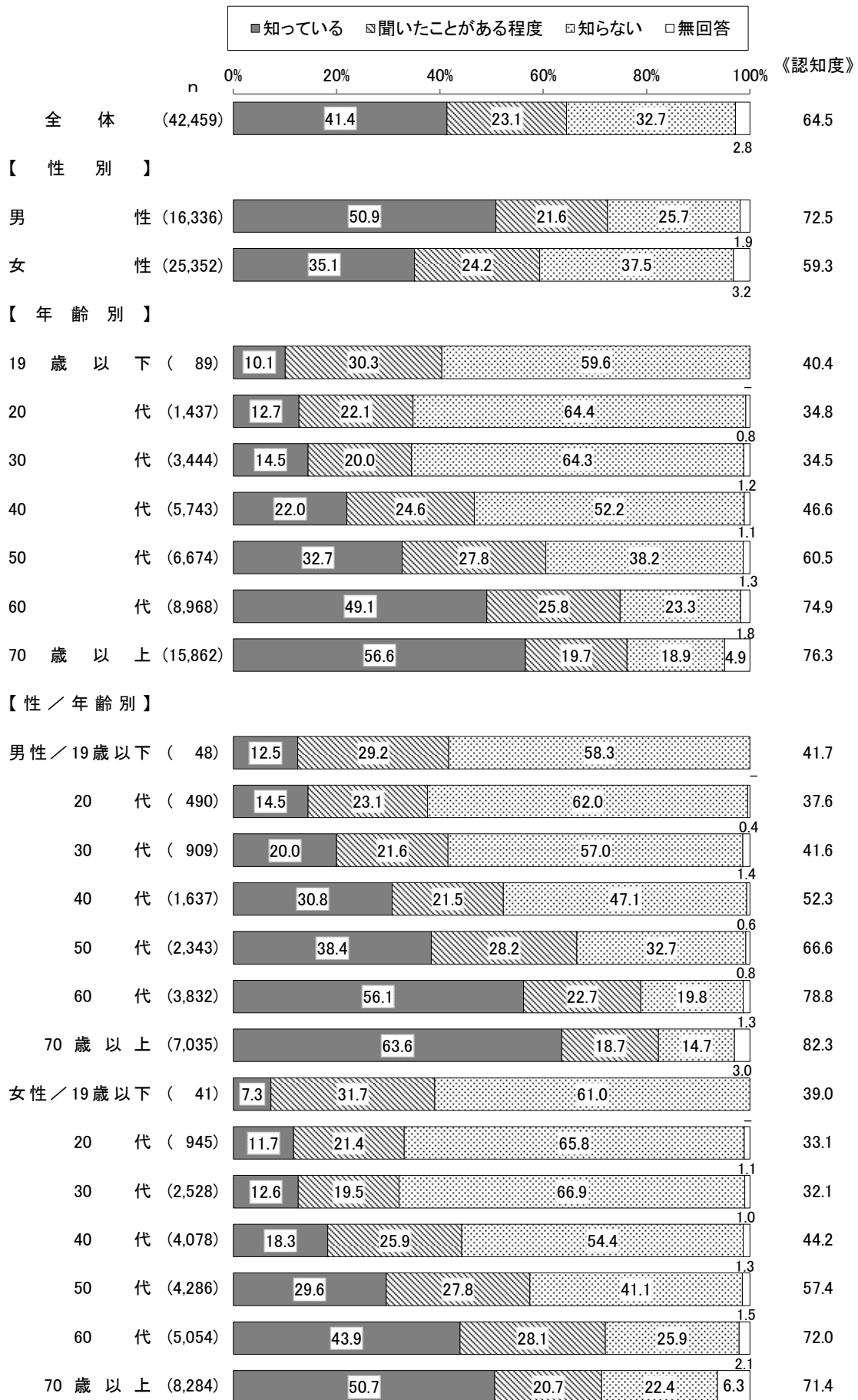
① 給水管の修繕等に関する認知度(利用区分別、給水方式別)〈図表2-5-1〉



<特徴>

- 全体では、「知っている」は41.4%で最も高く、「聞いたことがある程度」(23.1%)を合わせた《認知度》は64.5%となっている。一方、「知らない」は32.7%となっている。
- 利用区分別では、《認知度》は、一般家庭用と店舗併用等で77.4%と最も高くなっている。
- 給水方式別では、《認知度》は、直圧直結給水方式で75.5%と最も高くなっている。

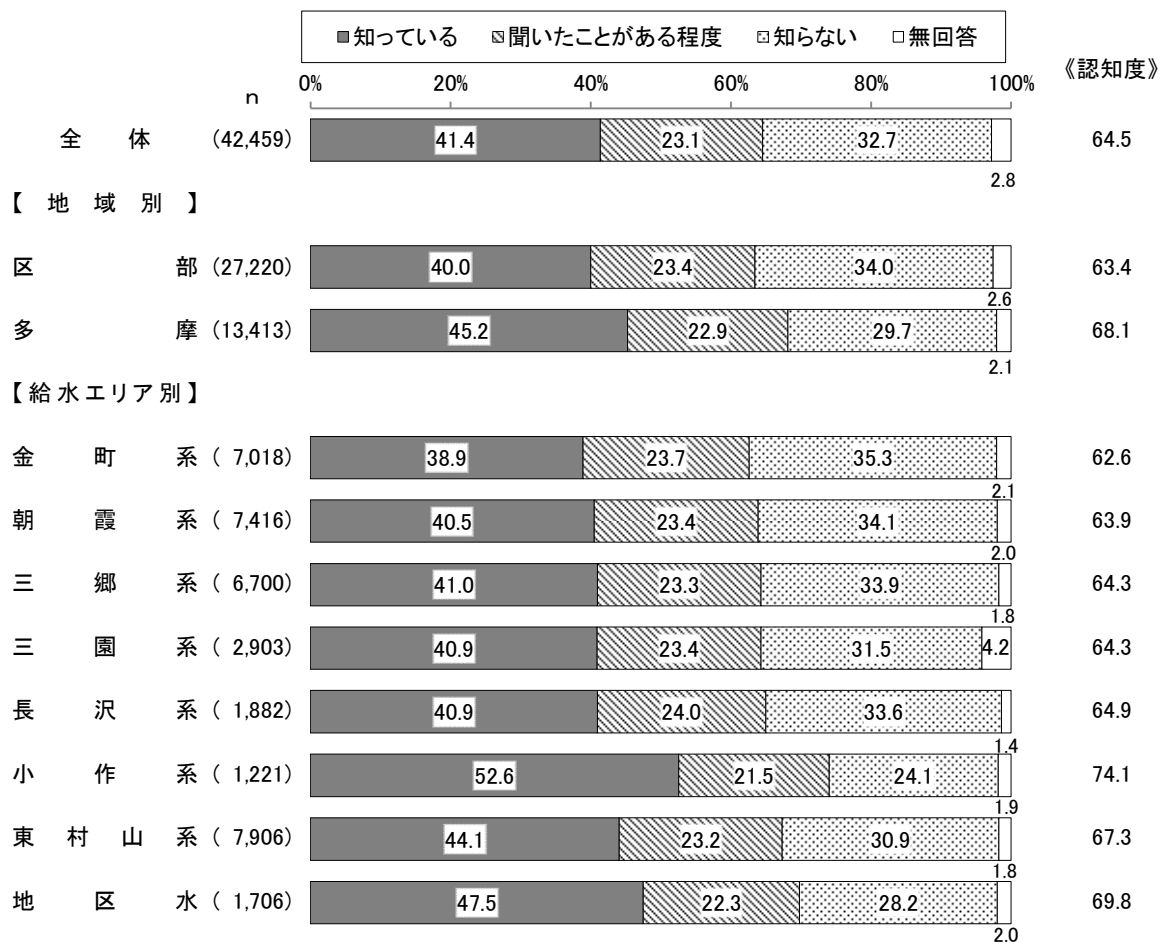
② 給水管の修繕等に関する認知度（属性別）〈図表 2-5-2〉



<特徴>

- 性別では、《認知度》は、男性（72.5%）の方が女性（59.3%）より13.2ポイント高くなっている。
- 年齢別では、《認知度》は、19歳以下（40.4%）から20代（34.8%）、30代（34.5%）にかけて低くなり、40代からは年齢が上がるにつれ割合は高くなり、70歳以上（76.3%）で最も高くなっている。
- 性・年齢別でも、《認知度》は、男女ともに年齢別の傾向同様に20代と30代で低く、男性の70歳以上（82.3%）で最も高くなっている。

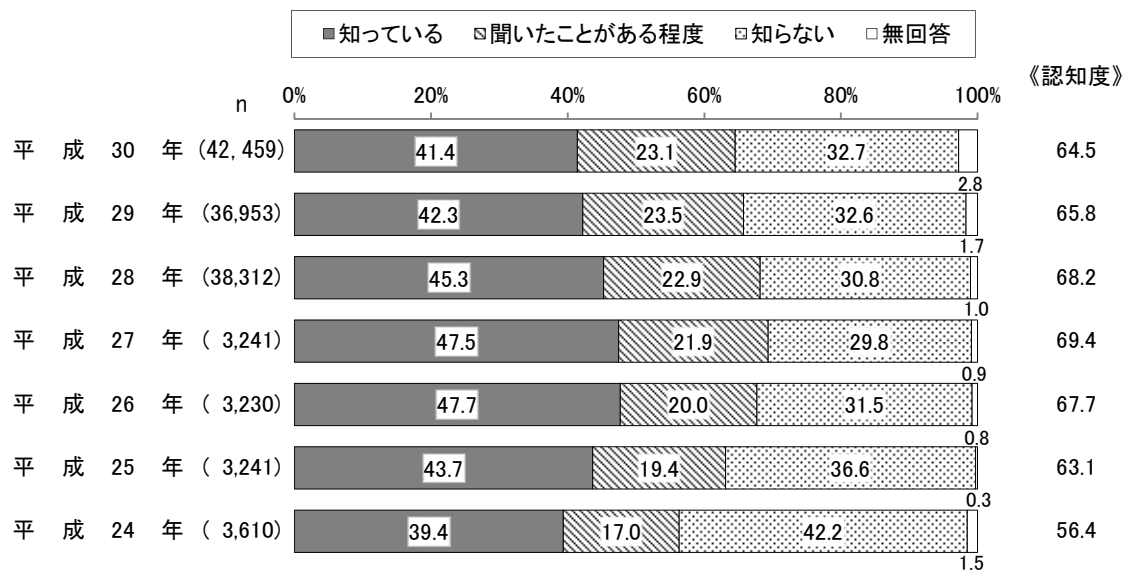
③ 給水管の修繕等に関する認知度（地区別、給水エリア別）〈図表 2-5-3〉



<特徴>

- 地域別では、多摩（68.1%）の方が区部（63.4%）より4.7ポイント高くなっている。
- 給水エリア別では、《認知度》は、小作系（74.1%）で最も高くなっている。

④ 給水管の修繕等に関する認知度（時系列：全体）〈図表 2-5-4〉



<特徴>

○前年度調査との比較では、特に大きな違いはみられない。

平成27年度から平成30年度までの4年間の傾向では、《認知度》が7割弱から6割台半ばに減少傾向となっている。